



平成15年1月17日

ここのえ町

第60号

発行/九重町議会

T879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集/議会広報編集委員会

印刷/尾花印刷有限公司

議会だより



夜間議会に多くの町民が訪れた議場

12
月
定
例
会

- 第4回定例会
- 陳情・請願・発議
- 委員会報告
- 一般質問（9名登壇）
- わたしのひとこと

P.2

P.3~5

P.5

P.6~10

飯田 佐藤 興健さん P.15

南山田 池部久美子さん

● こんな町にしてほしい 飯田小学校6年 中村 博行さん P.16

第4回定例会

本定例会は12月10日から19日までの10日間開催されました。

議案13件、陳情13件、請願2件、発議11件を慎重に審議しました。

一般会計補正額
1億6,413万2千円
総額73億9,311万6千円

補正の主なもの

- 光ファイバー敷設に伴い町内の公共機関、施設にパソコンなどを設置する総合行政ネットワーク整備工事費
83,317,500円
- 活きいきランド周辺駐車場整備費
26,000,000円
- 鳴子川渓谷周辺整備に伴う町道北方線の改良工事費
5,300,000円

決算審査特別委員会

〈審査報告〉

審査は予算が有効かつ適正に執行されたかを基本に、行政効果や経済効果を中心に担当課の事情聴取、資料や現地等の調査を行いました。

一般会計歳出は総額77億778万3千円で前年度より19.8ポイントの増である。

不用額2億6千4百51万2千円でやや多いが補正や翌年度に繰り越した事業が減少したためと思われる。

又、人件費で4.5ポイント減少して効率面の努力の跡が伺われた。

又、その他には改革すべき点が多々あると思われる。

国保会計においては収支は4億46万8千円の黒字となっているが、不納欠損額2億11万3900円と収入未済額2千8百79万2700円で、今後何らかの方策を考えるべきである。

水道会計は徴収努力は評価できるが、収入未済6億89万5千615円で今後格段の努力を期待します。

同和住宅資金貸付事業会計は累積の収入未済額が大きいので、何らかの方策によって解消に努めるべきと考える。

現地調査は宝泉寺地区植栽、バイオセンター、基幹集落センター、小松地獄駐車場、木材乾燥施設等を審査したが指摘事項等はその都度おこない今後に生かすべく対応を期待し決算審査報告といたします。

議会の動き

10月	1日	県町村議員大会
	2日	山香町地域活性化センター行政視察
	3日	熊本県菊池郡合志町議会視察来町
	5日	森高等学校80周年記念式典
	6日	玖珠駐屯地開設45周年記念式典
	11日	全国和牛能力共進会祝賀会(郡)
	12日	市町村合併を考える全国リレーシンポジウム
	18日	鳴子川周辺整備事業協議会
	20日	玖珠地区広域営農団地農道整備事業推進協議会総会
	27日	亀鶴兜祭
	30日	大分県畜産共進会(乳用牛)
	31日	総務財政常任委員会大分県畜産共進会(肉用牛)
11月	1日	任意合併協議会
	11日	決算審査特別委員会
	16日	在京玖珠郡人会
	18日	全員協議会
	19日	日田玖珠議員研修会
	町議会	議長全国大会
	水道委員会	先進地視察
	鳴子川周辺調査特別委員会	

みなさん方の陳情や

請願はこうなりました。



陳情

北恵良二区長 井上元壽
氏外関係住民並びに東飯田
小学校PTA会長 佐藤明
郎氏からの「町道恵良松木
線の改修について」は、

通学路であり登下校の児童生徒の安全確保を図る観点から、採択することで意見の一致をみました。



拡幅が望まれる東飯田中学校付近の町道

特定非営利活動（NPO）

法人ひまわりサービス代表麻生良昭氏からの「生活支援ハウスの建設について」は、

現在、町内では介護施設等も充分とはいかないが設置され一定のサービス提供がなされており、早急な建設の要望も住民から少ないことから、不採択とすることで意見の一致をみました。

連合玖珠地協議長 左藤

克樹氏からの「ILO第175号条約及びILO第111号条約の早期批准を求める意見書の提出について」は、

厚生労働省の審議会ではパート労働者の均等待遇確保については議論され、差別待遇廃止の政策が義務づけられていることから、採択することで意見の一致をみました。

連合玖珠地協議長 左藤

克樹氏からの「パート労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件の整備及び均等待遇を求める意見書の提出について」は、

パートタイム労働者は、賃金や労働条件、雇用など多くの問題点があり良好な就労形態とは言えず、法制化を望むためにも採択することで意見の一致をみました。

連合玖珠地協議長 左藤

克樹氏からの「基礎年金の国庫負担割合1/3から1/2へと早急に引き上げる意見書の提出について」は、

厳しい経済情勢の中、自己負担を軽減することは、保険料不払の抑止となり公的年金制度の安定につながるから採択することで意見の一致をみました。

国土交通省全建設労働組合大分支部長 佐藤祐生氏

からの「国民本位の公共事業推進と直轄事業の執行体制の拡充を求める意見書について」は、

住民の命と暮らしに直結

する防災事業や基幹的道路の管理等は引き続き直轄事業として国が責任を持って行うべきで採択することで意見の一致をみました。

森林交付税創設促進全国

議員連盟会長 板垣一徳氏からの「森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書の提出について」は、

住民の命と暮らしに直結

する防災事業や基幹的道路の管理等は引き続き直轄事業として国が責任を持って行うべきで採択することで意見の一致をみました。

継続審査となっていた玖

珠郡三原協議会会長 渡辺東海氏からの「あんま施術料助成に関する件について」は、

医療機関でも病気の予防

や健康回復等も含め広く治療にとりいれられている現状に鑑み、採択することで意見の一致をみました。

25日 郡議長会役員会
30日 全国和牛能力共進会祝賀会（県）

12月 5日 玖珠郡畜産品評会
100回記念大会

任意合併協議会

6日 県議長会正副委員長会
10日 本会議（開会）

11日 議会広報特別委員会
12日 本会議（一般質問）

13日 総務財政常任委員会
19日 教育民生常任委員会

25日 建設産業常任委員会
本会議（閉会）

玖珠郡老人養護組合議会

大分県労働組合総連合議

長 土井弘氏からの「健保本人3割負担等の健康保険法改正を凍結し、制度拡充を国に求める意見書の提出について」は、

国保の加入世帯数は約65%で、既に国保の自己負担割合は3割で保険料の絡みはあるものの均衡という点から意見書の提出は難しいと判断し、不採択とすることで意見の一致をみました。

大分県労働組合総連合議長、土井弘氏からの雇用保険の保険料引き上げ、給付削減を行わないよう国に要請する意見書の採択については、

国民生活と中小企業経営、地域経済は深刻の度を深め完全失業率、完全失業者の増大は重要な生活保障となっている雇用保険の給付削減等、重大な問題である。よって採択すること意見の一致をみました。

大分県労働組合総連合議長、土井弘氏からの年金支給削減反対を求める意見書の提出については、

高齢者の生活保障である年金の給付を削減することは重要な問題である。年金が地域経済に与える影響が大きく、年金支給削減は地域経済再生の大きな足かせとなることから、採択すること意見の一致をみました。

大分県労働組合総連合議長、土井弘氏からの解雇規

制法の制定を国に要請する意見書の提出については、

かつてない景気の低迷によって、完全失業率は史上最悪となり、雇用不安から消費購買力を低下させ、地域経済に大きな影響を与えている現状から雇用不安の解消が必要であると考え、よって本趣旨は理解できるところから採択すること意見の一致をみました。

大分県労働組合総連合議長、土井弘氏からの生活密着型・福祉関連の公共事業を国に要請する意見書の提出については、

地域経済は深刻の度を深めており、福祉関連の公共事業を推進することにより地域企業の活性化と地域の雇用拡大につながるもので採択すること意見の一致をみました。



請願

玖珠九重農協組合長代理、宿利和氏並びに飯田農協組合長、武田正利氏からのWTO農業交渉等に関する請願については、

WTO農業交渉で全ての関税率を25%以下にすることや、ミニマムアクセスの大幅な拡大のモダリティーが決定されれば、農産物輸入は一層増大し、農業を大きく圧迫し、農村の崩壊につながるから採択すること意見の一致をみました。

総務財政 常任委員会

職員の給与に関する条例等の一部改正については、

民間のペア中止、定期昇給止、賃金カットなど厳しい給与の実態を反映して、人事院が給与勧告制度創設以来、初の給料等の引き下げ改定であり、条例等の一部改正は適当であるとの意見の一致をみました。

九重町過疎地域自立促進計画の一部変更については、

現在、実施計画の中に交通通信体系の整備一件を加えるもので、鴨子川溪谷及び周辺整備事業に伴うことから適当であるとの結論に達しました。



建設産業 常任委員会

県営土地改良事業分担金賦課徴収条例の一部改正については、

現在、各事業毎に分担金を定めているが、県営事業分担金賦課徴収率が25%以下となっており、各事業に係わる分担金徴収率を包括するものであり、適当であるとの結論に達しました。

土地の取得については、町道宝泉寺栗原線道路用地として、土地を取得するものであり、適当であるとの結論に達しました。

教育民生 常任委員会

国民健康保険税条例の一部改正については、

平成14年度の税制改正により平成15年1月から株式譲渡益課税が申告分離課税に一本化されることに伴い、原則として申告が必要だが、個人投資家が証券業者に設定した「特定口座」を通じての株式の譲渡については、申告不要等の特例を設けるための一部改正であり、適当であるとの結論に達しました。



町道宝泉寺栗原線1工区基点

発議

◎雇用保険の保険料引き上げ、給付削減を行わないことを求める意見書提出について。

◎年金支給削減反対を求める意見書提出について。

◎ILO第175号条約及び、ILO第111号条約の早期批准を求める意見書提出について。

◎パート労働者及び有期契約労働者の適正な労働条件の整備及び均等待遇を求める意見書提出について。

◎WTO農業交渉等に関する意見書提出について。

◎解雇規制法の制定を求める意見書提出について。

◎国民本位の公共事業推進と直轄事業の執行体制の拡充を求める意見書提出について。

◎森林による温暖化防止な

どの施策の推進に関する意見書提出について。

◎生活密着型・福祉関連の公共事業を求める意見書提出について。

◎基礎年金の国庫負担割合三分の一から二分の一へと早急に引き上げを求める意見書提出について。

◎町村自治の確立に関する意見書提出について。

以上11件の発議は全て可決し、意見書を提出することになりました。

市町村合併対策特別委員会 《中間報告》

これまで6回の委員会と先進地視察、更には全員協議会や行政区懇談会等で幅広く地域住民の意見を聞くことが出来た。県が示した合併パターンの二町による任意合併協議会が発足、これまで5回、協議を重ねてきた。委員会としては調査研究を踏まえ町の将来を考

える時、両町を基軸にブラスアルファで人口5万人を目指した町づくりが望ましい

いと考えてきたところである。

県が示したパターンが少し変わろうとしている状況は民意が反映されたものと思います。将来に禍根を残さないためにも、大膽的な視点から英断をしなければならぬが、玖珠郡2町だけの合併しか視野にない玖珠町とは大きなギャップがあることも事実で、今後、近隣の町ともコンタクトをとりながら住民本意の合併を推進すべきとの意見の一致をみたところです。



意見書提出を決めた本町議会



合併協議が進み去就が気になる庁舎内

猪牟田ダム調査特別委員会 《中間報告》



計画的な工事発注が期待される猪牟田周辺

猪牟田ダム建設中止に伴う地域振興に関する調査、検討を目的に、これまで9回の委員会と1回の視察研修と検討を重ねて来ました。

今後の振興事業として14年度から18年度まで計画的に道路整備や地域活性化事業等の整備振興を図っていきます。しかし、工事発注等が総体的に遅れており、執行部に対し積極的に推進するよう要請します。

私の一般質問

夜間議会で12月11日に9名が質問しました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

大石 光則



有害鳥獣対策

問 今、猪や鹿、カラス、小鳥による被害が非常に多く人家近くまで来る。人と有害鳥獣の戦いが続いている。猟期以外に駆除を出した時の成果は上がっているか。上がっていないかったら助成金を増してはどうか。電機もよいが、集団や集落でやる方法はないか。カラスや小鳥の害が多くなっているが、撃退法はないか？

（苦慮しています）

答 有害鳥獣対策は、被害を未然に防止するための電気さく設置と駆除の二通りがあります。電気さくはH13年88カ所、H14年は68カ所設置しました。有害鳥獣の捕獲頭数は、減少して



整備が望まれている「泉水グラウンド」

郵便局での取り扱いは

います。カラスの駆除は、13年度97羽、12年度123羽駆除したが、なかなかいい策が無く苦慮しています。

問 平成14年4月10日よりこの法律が施行されているが、自治体の一部、証明書（住民票、印鑑証明等）を郵便局で受けとれる制度だが、県下でも利用が始まっている。役場より遠い所、

雪深い所、高齢化の進む中、地域の利便性を考えて、試験的に一つの局からでも始めてはどうか。

（全国的に普及途上）

答 郵便局といろんな形で仕事をお願いしています。独居老人への声かけとか、災害時の通報などですが、証明書の取り次ぎは、全国的にもまだ普及途上で、九州では4市町村8郵便局で、大分県では、宇目町のみです。本町では今少し検討させていたきたい。

スポーツ施設の整備を！

「泉水グラウンド等」

問 泉水のグラウンドが非常に荒れているが、行政で先進地の視察研修に行き、整備をしてはどうか。千町無田のマラソンコースの整備も、用地の出来た所から改良してほしい。各施設の整備を回り、一人でも多くのお客さんに喜んでもらえる様、整備して地域の農業や観光の振興になる様、努力していただきたい。

（管理運営検討）

答 泉水グラウンドは、ラグビー関係者からも芝を植えてほしい要望が毎年あがっています。ご指摘のとおり、どんな管理運営をするか、検討していかなければと思っています。

マラソンコースは危険な箇所については、町道ですので建設課の方で対応を考えてい。



麻生盛高



バイオセンターの 運営状況は

問 町からの委託料に対し、売上収入が思うように上がっていないのは何故原因なのか、もう少し適切な方法はないものか、たとえばブルーベリーの苗木などはど

うかと思うが。又バイオセンターの今後の計画と見通しはどうなっているか。

〈経営を考えて出荷〉

答 大分ブルーには大体苗の2/3を出荷しています。7月以降から生産する作物がとぎれます。バイオセンターの経営を考えると、受注して経営改善せざるをえません。ブルーベリーとか又特殊な苗は、専門の技術者が必要です。カスミ草は種苗会社より、いいものが出来ていますが、まだまだ技術的に不足・不備があると思っています。



九重町農業バイオセンター正門

ダム中止に伴う 振興計画の 進捗状況は！



問 ダム中止となつて早一年を経過している。地域振興計画が今だに実施されていないが、景気対策や失業対策を考える時、早期実施を行うべきではないか。

〈発注・努力します！〉

答 町全体の入札行為は、現在70数件です。猪牟田ダムの振興計画分は、10件あります。委託等に4件で残りは建設課で対応しています。

13年度分の繰り越し等により、ダム振興の方が遅れています。

景気対策の意味もあり、こういう時に遅れることは、地元の方も、あるいは業者の方にも迷惑をかけていることをお詫び申し上げ努力をして行きたいと思っています。



猪牟田ダム中止に伴う地域振興計画の早期実施が望まれている



管財人に

申し入れを

「九重ファーム」

問 九重ファームの糞尿処理水は、コイが住める状態か。

処理水等が流れる松川は簡易水道（8戸）が引かれている。この

方々にも現地を見ていただいたらどうか。

民事再生の

申請で、財産保全命令と監督命令を受けたが、町として管財人に、糞尿処理に手抜きが無いよう又、地元賃貸地代が滞る事が無いよう、

強く申し入れをしていただきたい。

〈要望に添えるようにする〉

答 地元に見てもらおうという

ことでしたが、浄化が出来る実質的に遅れています。

11月に入って、3回の検査をしました。その結果を

持つて、地元首原を含めた中で関係する機関、県と検討し可否を方向づけた。

8戸の方も要望に添いたい。共益債券の中に確実に貸地代が入っているのか確認し、その支払いが滞らないようにして行きたい。

九重ファームが引かれて



「九重ファーム」今後が心配される現地

町事業

「予定価格」

の公表を!!



問 町事業の入札、予定価格を公表して、不信・疑念を持たれないようにしたらどうか。最低制限価格の設定や、電子入札の導入等

で今以上に公正・公平で透明な入札の検討を。

平成15年からの鳴子川開発は、予定価格公表・分離発注で、広く町内業者に仕事

事が回るようにされたい。

平成15年からの鳴子川開発は、予定価格公表・分離発注で、広く町内業者に仕事

事が回るようにされたい。

〈前向きに検討〉

答 県下で14市町村が試行を含む、事前公表しています。全体が公表の方向に向

っています。町としてもその方向で検討を加えて行きたい。

分離発注が出来るものについては、出来るだけ分離発注の方向でやって行きたい。

分離発注が出来るものについては、出来るだけ分離発注の方向でやって行きたい。

分離発注が出来るものについては、出来るだけ分離発注の方向でやって行きたい。

政治倫理の

点検と再構築!!

問 町長を含む4役の論理要綱（又は綱領）が無いが、検討したらどうか。

国や県の財政難で、補助金や地方交付税カットが、一段と強くなっている。町政での議案、予算を提案する者、審議する者は「生計を一にする家族をも」生業

に対して、補助金の受益者となることや、工事受注・納入等は差し控えることが大事だ。全体として点検協

議されてはどうか。一人ひとりが礎を正す事が、町政への信頼を更に高めることにつながると思うが...

答 全国的に政治に対する信頼が無い、それはこの論理の欠落だ、それが不信を引き起こしている。これから論理については、自助努力を十分にやっていかなければならない。

議会と同レベルの論理要綱については、少し検討させていただきたい。

議会と同レベルの論理要綱については、少し検討させていただきたい。



第4回定例会での町4役（最前列）

J A 玖珠・九重！ 現在の危機対策は

小川 克巳



農協の存続は必要であるが、現状のままでは農家の農協離れは加速する。

行政としても合併予備契約書にも立会人として町長は調印している。合併時の調整が農協中央会も含め十分であったのではないかと。つい先般、岡山県の大原

町農協が多額の使途不明金が発覚し粉飾まがいの決算で危険を感じた、町民の預金の流出が始まりペイオフ一部解禁後初の破綻が農協であった。J A 玖珠九重も不良債権が当然拡大すると思われるが対策は万全か。

問 今、農協が合併後わずか一年たらずで最大の危機を迎えている。原因は旧J A 九重町の貸倒引当金の不足が発覚したこと、に端を発して、産廃処理問題で逮捕された梶原組合長以来くるくる替わる役員員の人事そして経営・財務問題などと深刻な状況である。



旧J A 九重町の引当金不足をいかに解決するか心配されている九重支所

〈行政として何が出来るか検討〉

答 農業が厳しい時に、また重要な段階の時に、産廃の不法投棄問題で、主な組合長が不在という中で、今回また新たな貸倒引当金の不足が発覚、あることないことまで飛び交い、農家の皆さん方が不安に陥っている。

することも理解しています。理事会でしっかりと方向を出していただき、行政が御加勢が出来る分は何が出来るか、検討を加えて行きたい。理事会が一定の方向性をしっかりと出していただきたい。

来年産米の減反割当てはあるのか

問 来年度産米の減反面積が5万ヘクタール上乗せされ、過去最大となるが、九重町においては減反割当面積をオーバーしている状況である。

これ以上減反を強いられると農家は生産意欲はおろか死活問題に発展する。今後の転作に対する取り組みを聞きたい。

〈従来の転作面積で対応できるが……〉

答 先般、米政策改革大綱が示され、中身を見ると大変な中身になっており平成20年には農業者が自主的に生産調整を行う体制に移行となっています。実績は37

ヘクタール程オーバーしており対応できませんが、緊急拡大分で74万程度、特別調整分で380万円がカットされ、これが影響を受ける状況にあります。

梅木 征治



地元商店と 高齢者家庭を結ぶ 活性化の支援

問 高齢化が進む中で、買物にいけない家庭が増えて来る高齢者が、ファックスで注文すると、商店の基地



宅配が期待される地元商店

が受けて商品を届ける制度、町内で65歳以上の高齢者3668人いる中で10億円以上の消費が見込まれる。高齢者と地元商店を結ぶ事業実施の取組は出来ないか。

〈早い実現に向けて〉

答 現在県が実施している過疎地域商業支援事業の中で、高齢者向けの販売宅配事業や高齢者や障害者が利用しやすい町づくりのための事業というメニュー等がありますので、近々中に連絡会を立ち上げて真剣に検討していきたい。

外国人(既婚)女性の 生活支援を

問 町内で結婚している外国人女性の数が17組ある。知らない国で、親戚、友達等の少ない中で生活は、言葉・文化・生活習慣の違い、子育てなど大変に苦勞されているこの人達に温かい手を、人権を重んじ国際交流を進めている町として



大半が取水される野上発電所の取水口

今後どのような支援と取組は。

〈支援組織の 立ち上げを〉

答 九重町の第3次総合計画の中にも国際交流の中で計画にのせて、十分な検討をしながら、そういう人達が地域に飛び込みやすいような体制をしていく必要があると思います。

玖珠川に清流を

問 発電企業と流水契約がある玖珠川が、九重町に対して持つ意義を再認識して、町自体が川を守る筋の通った計画なりビジョンが必要では。子ども達の感性を養う場、義務教育課程の中で教材、野外観察の実習の場。地域住民の憩いの場としての位置が必要では。

〈要望をつづける〉

答 全国的に河川が枯れてきた為に、契約期間が10年で見直すことが義務づけられた。100平方キロ当り最高0.3トンは維持用水として流さなくてはならないようになってる。(確認はされていない)発電企業も河川が枯渇している現状も理解しており、今後は水源確保の方向で検討を加える。

町としても要望していきたいと思っています。





農協運営は

大丈夫か

問 農協合併に当たり期待と諦めの交差する中で今日を迎え、話題は不良債権処理で持ちきりである。組合員は即町民でもある。

①合併が目指したものは何であるのか。

②合併時JAこのえは貸倒れ引当金はどれ程あったのか。

③県や農協中央会の指導監査指摘で引当金不足を言われながら、改善された様に

見せかけた粉飾決算をしたのではないか。
④町として今後どう関わっていくか。

〈理事会が方向性を〉

答 平成元年1月、大分県農協大会で県下を12農協にする事を決議した。国際化、金融の自由化、高度情報化社会等で農業関係の競争が激化してきた。農協がその機能を十分に果たすには大きくなくて、農民の信頼に応える目的で合併を目指した。現在の混乱、まず理事会がはっきりした方向性を見出していただきたい。

合併時1億2千万円積んでいて、不足分が3億6千万円です。その時であれば、資産等があったので、対応の措置はあったと思う。行政として手助け検討したい。



農協が運営している「九重ふるさと館」

支援講師は

継続すべきだ

問 著しい情報化社会に対応できる子どもを育む学校教育に県下にさきがけて設備投資されている事は評価しますが、先の野上小での研究発表を参照して若干の疑問と提言をもとに

①活字離れが言われて久しいが、パソコン操作は慣れなくても漢字への転換の不安はないか。

②読書によって文字を覚え読解力が育ち、考えを表現する文章が生まれると思う



パソコン指導を受ける子どもたち（野上小）

が大丈夫か。

③図書室を今日まで運営してその成果を総括すべきではないか。

④国は来年度より12学級以上の学校に司書教諭を必置とするが、本町では独自に何か考えがあるか。

⑤コンピュータ支援講師と教師とが極めて良好に作用しているが来年度も継続すべきと考えるが、どうか。

〈教育の実態 厳しい!!〉

答 情報教育、コンピュータ等を使った牽引的な役

割を期待していますが、活字離れの現象は急速に広がっており歯止めがきかない状態である。正規の日課表の時間割の中に読書の時間を組み込んでいるが、高学年になるほど図書館利用や読書量は減っています。コンピュータの支援要員と支援講師については、町内11ヶ所に指導をお願いして3年目になり引続き何とかできないものかと思っている。

図書司書の問題は国の制度であり、図書館活動が展開できるようにしたい。



バイオセンターと 農家の連携

問 農業従事者の高齢化に伴い、農作業の効率化のためトマト農家においては接木苗での栽培が可能になり農作業の軽減ができるようになりました。平成14年度の接木苗は84000本を購入している。九重町にはバイオセンターがありここでトマトの接木苗等を作り農家に少しでも安い苗を供



バイオセンター上空より

給する方法はないか。バイオセンターと農家が連携し農業の振興をはかると共にバイオセンターの売り上げにもつながるのではないかと検討してみたらどうか。

〈取り込み不可能!!〉

答 2月と7月の間は、町内向けのかすみ草の苗を生産しています。バイオセンターで接木苗を考えると、2本仕立ては特許があり価格は、今より高くなることもありま。施設を作り、技術者も入れ、作業員も雇用すると、施設だけでも約4億円程度必要で、取り組むことは不可能です。どうあればいいのか、今年度中に何とか方向を見出そうと努力をしております。

定住促進団地に 温泉付きを

問 九重町においては以前より町営の賃貸住宅を多く建設し最近では引治郡原に13区画の分譲地を販売しています。このように九重町としては、町民・ターン組、Uターン組の少しでも多くの方々が九重町民になれるよう努力をしていますが、さらに私の希望を申し上げますが九重町の一特徴である

豊かな自然と豊富な温泉を十分取り込んだ住宅造りはどうか。
温泉で一日の疲れをいやす事の出来る温泉付一戸建て住宅の建設を是非これからの定住促進団地に取り入れていただきたく、ここに提案します。



販売中の郡原「定住促進団地」

〈まず郡原の完売を!〉

答 町内に有する泉源は約300を数え、県下では別府に次ぐ湯量を誇っています。
温泉付きの分譲地や、分譲住宅が、あるいは町営住宅があるならば、若者定住につながるとは思います。まずは郡原の完売を努力していきたい、そして二段階で、そういうところがあればそういう所を探してみたいと思っています。



自衛隊は 北朝鮮への 抑制力だったのか

問 日出生台演習場での日米合同演習に反対する抗議集会に対して、訓練は北朝鮮への抑止力などの発言は、

トップ発言として始めて聞く発言である。自衛隊は、いつから北朝鮮への抑止力であったのか。重大な内容の発言だ。有事三法制の具現化だ。町としてどう対処したか。抗議したのか。

〈遺憾〉

答 今回の総監の発言については、その言動について私は遺憾の意を表明して、トップですから、慎んだ言動をしていただきたいと抗議を申し上げたところでございます。



恒常的な演習が不安視される日出生台演習場

J A玖珠九重の 問題解決の 指導責任を果たせ

問 役員、人事、経営財務問題など合併から今日に至る内紛の原因は何があるのか町も合併促進条例を制定した。合併を強行させた県の責任は免れられない。合併の経過は、農協の広域合併は殆どが、組合員参加による民主的論議を欠いたまま進められた。地域振興を合併の第一目標に掲げな



J A玖珠・九重の臨時総代会で質問する代議員
写真提供：「西日本新聞社」

から、合併直後から、不採算部門として営農指導、販売事業体制が弱められ、地域に於ける協同活動の拠点である農協支所も統廃合が進められている。そして今信用事業のバンク化と経済事業の株式化へと進められている。武部農相（当時）解体的改革と農協型株式会社を提言、小泉首相も改革なければ解体とハツバ、協同組合に於ける思想の危機でもある。農協再建については、合併を強行した県の指導責任を果たせ。問題解

決に向けて町も積極的に努力すべである。

〈県や中央会の 指導不足〉

答 県下で12農協構想の中で10農協の合併が進み、玖珠九重もこれに続く事となったが、農協の合併というものとは間違ったものではないと認識している。事後指導の面から県や中央会の指導不足であったということはいない事実である。町として十分県や中央会の方に意見を求めて行きたい。

穴井 太輔



幼保一体化教育 スタートしたが

問 基本として、幼稚園と保育園との一貫した就学前教育。預かり保育を目的で実施したが、4歳児

の申込人数が4園でばらつきがあるがなぜか。職員体制は現在の人員で、対応が出来たのか。特に野上幼稚園の対応は。今後少子化が進む時、4地区、4園では非効率と思われるが、施設の統合、又は地区での幼保の合築は考えられないか。今後、地域を挙げて子育てを支援するために、職員・施設の充実が必要と思うが、どう進めるか。

〈改革に向けて 協力を〉

答 昨年の改革案で施設整備については、各地区ごとにそれぞれ整備をする方向を示していました。再度検討を加えた結果、4地区をそれぞれ整備することは厳しい状況下であり、さらに検討を加える。



木の葉保育園、楽しいクリスマス会

今のままで

良いのか!!

アートランド九重

問 農業農村活性化構造改善事業でスタートしたトマトハウス事業が僅か8年で失敗し、その後他の人が施設を使用しているが、それで良いのか。国・県・町の補助金で建設したが、その対応は。地権者に貸地代も

払われていないと言うが、町としての対応は。今後事業実施する時、十分検討する様望む。



一日も早い解決が望まれるアートランド九重

〈裁判の行くえを 見まもる〉

答 公庫が簡易裁判所に競売の申し立てを行っている現状であり、遂行状況を見きわめたい。

問 北山田と書曲を結ぶ路線で、書曲地区は道路幅が狭く車の量が多く通学路で危険路線である。買収や工事が進まないのはなぜか。町村合併の関係があるのではないか。地区民は早期完成を望んでいる。

県道

「野田・書曲線」 の早期完成を!!

答 県に対して早く用地交渉を要望していますが、県の予算削減で実施が遅れている。合併協議とは考えられない。早期実現に向け要望を続ける。

〈早期実現を〉

問 早期完成が望まれる「野田・書曲線」



早期完成が望まれる「野田・書曲線」



九重町農業委員会会長
佐藤 健児

昨今を思う

一軒屋のせいかこの季節になると小さな道が出来て居る。獣道であろうか、幾日歩いたらはつきりと道が出来るかと思うと愛しくもあるが少し邪魔をするものもある。60数回正月を迎えると経済的な余裕はないが、時間的には少し余裕が出来て生活とは別な事を思う時がある。幼い頃学校へ通った道は「田畑」や「都会的」「山小屋」風な家が建ち、面影も変化し、大人から誉められた道、叱られた道、蜂に刺された場所など、風景は変わっても想い出は消えないと思ひながら通る。時には自分の人生の道を思い出す。いつもきつい道ばかり通つ



飯田高原の広大なキャベツ畑

て来た様に思える。しかし狭い部屋で食べ物を分け合いガヤガヤと言ひながら家族で過ごして来たから楽しみも多かった。最近の道は良くて便利だが行く先が暗く自信が持てない。農産物の価格は下がりが安全に責任の持てる産物を作らなくてはならず、今までの感覚では経営者としての資格が問われる程厳しい。これも人のせいでは無い、なぜなら立派な道を作ってる経営者も多いから。自分の努力がたりなかったため息はつくものの、親たちから学び身に付いた事からは、なかなか変わらない。なにはともあれ先祖連から受け継いだ尊い集落の農地から生産される農産物の価値観を消費される人々から理解を得るために地域が一体となる努力をすれば隔の当たる道もあつて思ふ。昨夜来の雨にもめげず今朝も足跡がある。たぶん親の親子のものだろう。

わたしのひとこと



“豊かな自然” この町が大好き



池部 久美子

九重町が私の第二のふるさとになって15年の月日がながれました。初めの頃、田舎の生活習慣にも慣れず、何かと不便を感じることも多かったように思います。



豊かな自然で健やかな成長を願う池部さん母子

しかし、そんな思いもいつの間にか、子どもの成長と共になくなってきました。今ではこの町が大好きになつています。子育てを通して大切なこと、それは「環境」にあるということが分かってきたからです。

九重町には子どもたちがすくすく育っていきけるいろいろな「環境」（自然、人、文化）が整っています。その一つは豊かな自然です。

四季折々の彩りは住む者の心を和ませ、豊かな気持ちにしてくれるからです。二つ目は人とのつながりです。子育てを通して、出会った多くの方たちからたくさんのお話を学ばせてもらいました。三つ目は、人権という名の文化です。いろいろな立場で人権について考え、大事にする九重町の取り組みはすばらしいです。

私は、我が子にこんなすてきな環境をこれから先、ずっと残してあげたいし、そのことを誇りに思うような子どもたちに育つてくれたらと願っています。私がこの町を大事に思うように……。

いんな町につつま

ふるさと飯田に 思うこと

飯田小学校6年

中村 博行さん



総合の学習で、地域の20代から70代の人に飯田や飯田小学校について聞きまし

た。その中で、将来の飯田は、
「今と変わらないでほしい。」
「より多くの人に愛される飯田になってもらいたい。」
「ゴミのないすばらしい観光地。」という願いを知りました。

多くの思う飯田は、春には高山植物が花開き、秋に

議員リレー

随想 30

こどもは 郷土の宝



小田 大九郎

昨年11月、准国小学校恒例の三世代ふれあい祭りが行われた。竹馬、竹とんぼ、紙鉄砲をみんなで作って遊び、笑い声の絶えない一日を過ごした。「上手に作れて良かった」「楽しく遊べた」たぶん子ども達はそういう気持ちで持ち帰ったであらう竹馬や竹とんぼ、今、家のどこかで淋しがっているのでは——子どもの気持ちに誘うコマージュ、次々と売り出される新しいゲーム、欲しがらない筈がない。

時代の流れ、生活環境の変化、純粋で素直な子ども達の成長に果たしてどうなのかと懸念をいだく。そんな折り、全校マラソン大会が行われ父母の声援の中、無邪気に走る低学年、さすが闘志を燃やす高学年、息を上げゴール目指して一生懸命、私もファイトファイと声援を送りながら、先述の懸念が頭を過ぎり子ども達の将来への夢に変わった。純粋な心、旺盛な好奇心、無限の可能性を伸ばしてやる努力も大人の努めである。今、避けて通れない

は山いっばいの紅葉。冬にはスキーや氷の祭典というように、たくさん自然がある観光地だと思います。でも、ゴミもたくさん捨てられています。高山植物が傷ついたり、取られたりするともあると聞きました。自分の将来をどう考えているかは、今、飯田にいます方がいけど、飯田を出た気もするので何か微妙な感じですね。もし、残るなら農業か自然に役立つ自分のできる限りのことをしたい

です。

飯田を出るとしても、飯田のことを忘れないで帰ってきたら、農業の手伝いや自然とふれあつて、ゴミ拾いなども自分で進んでやっていきたいです。



雄大な九重連山



元気な准国小の子ども達

合併問題の行方によっては生活環境も変わってくる筈、未知数の可能性を秘めた子ども達の将来と、かけがえない郷土「九重」の未来を見据えた合併問題の取り組みが不可欠となる。少し膨らみそうな梅のつぼみ、春のおとずれもすぐそこ。

編集後記

21世紀は、平和で穏やかな世紀になると期待していたが、国内でも地球規模でも、残念ながらそうならない。

金のためなら何でもやる。食品の偽装・不当表示・無登録農薬の使用等々「食べ物」に対しての不信・不安が、いつきに高まった。

アフガニスタンからイラクそして北朝鮮と、きな臭さが益々強くなって来た。これら全て政治と直結している。

2月2日は、九重町議会議員選挙の投票日です。皆さんの大事な一票で、身近な政治に積極的に参加して下さい。

今回の「60号」で編集委員6名の、2年間の任期が終わり、新しい編集委員にバトンタッチ、この間読んでいただいた事に、感謝してペンを置きます。

ありがとうございました。

(K・E)

菅原 美好 (委員長)

小川 克己 (副委員長)

梅本 征治・竹尾 允文

佐藤 勝憲・江藤 幸